

平成30年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成事業

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、自然体験指導者（NEALリーダー）を養成することにより、青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子供の発達段階に応じて適切かつ安全に指導ができる自然体験活動指導者を育成する。

2. 事業の概要

(1) 期日

前期：平成30年5月19日（土）～5月20日（日）1泊2日

後期：平成30年6月23日（土）～6月24日（日）1泊2日

(2) 参加者

① 募集対象・人数

自然体験活動指導者に興味のある18歳以上の方 20人程度

② 参加人数

前期12人（大学生6人、社会人6人）

後期37人（大学生32人、社会人5人）

(3) 講師等

前期：1日目

講習①「自然体験活動の技術 その1」

講師：瀧田 正宏（国立吉備青少年自然の家 主任企画指導専門職）

前期：2日目

講習②「自然体験活動の安全管理」

講師：井上 桂 氏（下関市深坂自然の森 森の家下関 所長）

講習③「青少年教育における体験活動」

講師：眞鍋 洋三 氏（倉敷市少年自然の家 所長）

後期：1日目

講習④「自然体験活動の特質」

講師：西村 典芳 氏（神戸山手大学 現代社会学部観光文化学科 教授）

講習⑤「対象者理解」

講師：志賀 誠治 氏（NPO法人 ひろしま自然学校 代表理事）

後期：2日目

講習⑥「自然体験活動の指導」

講師：今井 正裕 氏（一般財団法人 大阪府青少年活動財団 理事 兼 野外学部長）

講習⑦「自然体験活動の技術 その2」

講師：瀧田 正宏 (国立吉備青少年自然の家 主任企画指導専門職)

(4) 企画・運営のポイント

- ① ボランティア養成研修の参加者に NEAL リーダー後期の受講案内をすることで参加者の増加を図るとともに、後期を受講できない希望者には履修表を渡し、今後の履修につながるようにした。
- ② 修了試験後のガイダンスで、NEAL リーダー資格取得後の活動に向けた情報提供を行った。〔当所事業の案内や上位資格（インストラクター）の取得に向けての講習会情報等〕

3. 活動の内容等

(1) 日程

① 前期

5月19日(土)		5月20日(日)	
13:00	ガイダンス	6:00	起床・洗面・清掃
13:45	アイスブレイク	7:15	朝のつどい
15:00	講習①「自然体験活動の技術その1」	7:30	朝食
19:00	情報交換会	9:00	講習②「自然体験活動の安全管理」
21:00	入浴	12:00	昼食
22:00	就寝	12:45	講習③「青少年教育における体験活動」
		14:30	解散

② 後期

6月23日(土)		6月24日(日)	
13:00	受付	6:00	起床・洗面・清掃
13:30	ガイダンス	7:15	朝のつどい(雨天のため中止)
14:00	講習④「自然体験活動の特質」	7:30	朝食
17:15	夕べのつどい(雨天のため中止)	9:00	講習⑥「自然体験活動の指導」
17:30	夕食	10:30	講習⑦「自然体験活動の技術その2」
18:30	講習⑤「対象者理解」	12:30	昼食
20:00	入浴	13:30	講習のまとめ
21:00	情報交換会	14:00	修了試験
22:00	就寝	14:30	ガイダンス
		15:00	解散

(2) 活動の状況

① 前期



【アイスブレイク】



【自然体験活動の技術】



【自然体験活動の安全管理】



【青少年教育における体験活動】

② 後期



【自然体験活動の特質】



【対象者理解】



【自然体験活動の指導】



【修了試験】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：100%

(2) 参加者の声

- ① 子供に自然体験をさせてあげたいと思える研修でした。
- ② 研修会で得た知識・技術を今後のボランティア活動に活かしていきたいです。
- ③ 自分の成長だけでなく、仕事にも役立つと思いました。
- ④ 中身の濃い講義を受けることができ、とても嬉しく思います。

(3) 成果

- ① ボランティア養成事業の読み替えで企画したことで、参加者増員につながった。
- ② 外部講師には、基礎的な知識や技能を講義していただき、自然体験指導者として活躍していく参加者にとって、動機づけの機会になった。
- ③ 全参加者がNEALリーダーの修了試験に合格することができた。

(4) 今後の課題

- ① NEALリーダーの資格取得後の活動実態を追跡調査することで、資格の有効活用や今後の広報活動に活かしていきたい。
- ② 前期はボランティア養成研修と合同で実施するため、講師への連絡調整や細案の融合など、さらに効率的な運営に努める。

担当：企画指導専門職付 谷山 典